

Atsuko Temma Solo Violin Concert



天満敦子(ヴァイオリン) *Atsuko Temma, Violin*

東京都出身。6歳よりヴァイオリンをはじめ、小学校時代、NHK・TV「ヴァイオリンのおけいこ」に出演。講師の故江藤俊哉氏に資質を認められて音楽家への道を志した。東京芸術大学在学中に日本音楽コンクール第1位、ロン・ティボー国際コンクール特別銀賞等を受賞して注目を浴びる。海野義雄、故レオニード・コーガン、ヘルマン・クレッパースらに師事。

1992年「文化使節」として訪れたルーマニアで、「ダヴィッド・オイストラフ以来の感激」(同国文化大臣)と高い評価を受け、公演は空前の成功を取めた。翌年この訪問が縁で巡り会った同国の「薄幸の天才作曲家」ポルムベスクの「望郷のバラード」を日本に紹介、以後この作品は天満敦子の代名詞とさえ言えるほどのクラシック界異例の大ヒット曲となった。憂いをおびた美しい旋律とともに、曲に秘められたエピソードも話題をよんだ。

これまで多数のCDを発売。「望郷のバラード」との巡り合い10周年を記念して2003年秋に発売された「Balada(望郷のバラード)」は高い人気を得て、ロングセラーを記録している。2004年1月放送の「吉岡秀隆シルクロード浪漫」(東海テレビ開局45周年記念特番)では小林亜星が作曲したテーマ曲の演奏を担当。同時にCD「シルクロード浪漫」を発売。2005年12月「ねむの木の子守歌」が第47回日本レコード大賞企画賞を受賞という栄誉に輝いた。

2006年9月には「旅へのロマン」をテーマにしたCD「ツイゴイネルワイゼン」を、2007年6月には「愛」をテーマにしたCD「愛のあいさつ」をリリースし、これらもまたベストセラーを記録している。

また2005年、2008年には東京芸術大学時代の同級生、小林英之(オルガン)と共演してCD「祈り」、「祈りII」を録音。これらのCDも評判を呼んで大ヒットを記録した。

2011年に母の故郷・南相馬が被災してからは「日本うた」に心の傾斜を深め、CD「ふるさとのうた」を翌年、「旅人のうた」を2015年に制作、感動を呼んでいる。

天衣無縫、個性味あふれる語り口と、ステージにおける強烈な自己投入が、彼女の魅力と言われるが、その裏に秘められた深い譜読みと、絶えざる研鑽の日々を知る人は少ない。

東邦音楽大学大学院教授。松本市四賀音楽村村長。

使用のヴァイオリンはアントニオ・ストラディヴァリウス晩年の名作。

ストラディヴァリウス晩年の名器を手に、哀切のヴァイオリニスト天満敦子が奏でる心のうた!

最新アルバム好評発売中!

戦没画学生の絵に捧げる、
哀切のヴァイオリニスト天満敦子の調べ…。



天満敦子 in 無言館

天満敦子(ヴァイオリン)【無伴奏】

CD:KICC1275(キングレコード)¥3,000(税込)



●アダージョ〜無伴奏ソナタ第1番より(バッハ)●鳥の歌(カタルニア民謡/カザルス編)●トロイメライ(シューマン)●独奏ヴァイオリンのための譚歌五色(和田誠)●叱られて(弘田龍太郎)●知床旅情(森繁久彌)●からたちの花(山田耕筰)●望郷のバラード(ポルムベスク)●ジュピター(ホルスト)●花は咲く(菅野よう子/和田薫編)

録音:2016年5月24日、25日、6月15日上田市、無言館



戦没画学生慰霊美術館「無言館」

1997年、上田市塩田平の丘の頂に開館。日中戦争・太平洋戦争に出征、志半ばに戦死した画学生百余名、七百余点の遺作、遺品を収蔵する。天満敦子は、初めて訪れて以来、18年間に渡り毎秋コンサートを開催し続けている。

AIR G「朝クラ!」
AIR-G (FM北海道)のクラシック音楽入門ラジオ番組
(毎週日曜日あ8:00~8:55放送)
DJ:高山秀毅 HIDEKI TAKAYAMA
[mail] asakura@air-g.co.jp